

被災地3チームも熱演／雷舞フェス

0

B!

0

おすすめ

おすすめ

チェック

毎年恒例のダンスの祭典「第8回たかさき雷舞(らいぶ)フェスティバル～群馬よさこい～」が16日、高崎市高松町のもてなし広場など3会場で行われた。

イベントは、高知の「よさこい祭り」発祥の鳴子踊りの高崎版。今年は東日本大震災で被災した宮城、福島の両県から計3チームが招待され、過去最多の38チーム約1200人が参加。きらびやかな衣装に身を包んだ参加者は鳴子を手に、息の合った踊りを披露した。

福島県から参加したチーム「うつくしまPR隊」は、同県の名産品や名所など「福島県の宝物」を盛りこんだ歌に合わせて踊りを披露した。同県下郷町の星敦史さん(38)は「群馬の皆さんに福島の元気を届けようという気持ちを込めて、50人が一丸となって踊った。今日のダンスは120点満点」と笑顔で話した。

(2011年10月17日 読売新聞)



元気に踊りを披露する福島県の子供たち